

第4回下水道グローバルセンター審議会 開催概要 (平成24年6月8日)

日本下水道協会は、下水道グローバルセンター(GCUS)の事務局としてその活動を支援する様々な業務を行っています。

その一環として、GCUS 活動に対する意見や助言をいただくことを目的に、学識経験者やジャーナリスト、並びに自治体・民間企業等の代表者を委員とする「審議会」を年1回開催しており、本年は6月8日に第4回下水道グローバルセンター(GCUS)審議会を当会5階大会議室において開催しました。

今回は、楠田座長(北九州市立大学大学院教授)ほか18名の審議会委員、多数のGCUS構成団体等により開催されました。

議事では、始めにGCUS事務局より平成23年度の活動報告としてサウジアラビアやベトナムなどで展開されている、プロジェクト形成支援活動の進捗報告や海外下水道関係団体とのネットワーキング・ニーズマッチングとして、海外及び国内での国際会議・セミナーなどの開催状況等について報告がありました。

引き続き、平成24年度の活動について、

- 1)プロジェクト形成・営業活動支援
- 2)海外とのネットワーキング・ニーズマッチング
- 3)我が国下水道技術の海外展開に資する国際標準化及び調査・研究
- 4)水・環境ソリューションハブ(WES Hub)によるトータルソリューションの提供

の4つの柱に再編することが説明されました。

委員からは、GCUSの活動は幅広く行われており、評価できるものの、今後は活動内容の整理や今までの活動をもとに具体的な成果に結び付けられるよう取り組むべきとのご意見を頂きました。また、GCUSが保有する人脈の活用に向けた検討を行って頂きたいとの要望もありました。

GCUSでは、審議会でのご意見を踏まえて、今後とも世界の水・衛生問題の解決と我が国民間企業の水ビジネス国際展開の支援を進めて参ります。

引き続き、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

